

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和 7年度）

雇用契約を締結していた全ての
利用者における延べ労働時間

8099

時間

雇用契約を締結していた延
べ利用者数

1,912

人

利用者の1日の平
均労働時間数

4.14

時間

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々々年度（令和 5年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

4,086,685

円

利用者に支払った資金
総額

6,096,516

円

収支

▲ 2,599,985

円

前々年度（令和 6年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

8,341,130

円

利用者に支払った資金
総額

8,023,872

円

収支

317,258

円

前年度（令和 7年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

11,466,219

円

利用者に支払った資金
総額

10,657,988

円

収支

808,231

円

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（ 年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨
に関する制度を定めている☒

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を
定めている☐

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
に関する制度を定めている☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を
定めている☒

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を
定めている☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を
定めている☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度
を定めている☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を
定めている☒

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（ 年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している

☐①外部研修、もしくは内部研修を
1回以上実施している。☒

※研修名 これが良いのかどうするA型

研修講師 朝日雅也氏（埼玉県立大学名誉教授）小野寺祐子氏（元

厚生省障害者雇用対策課課長）福田裕士氏（株）ジルベルト代表取締役

実施日・受講者数 10月25日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において
1回以上発表している☒

※研修発表名 A型事業所継続研究会

実施日 令和 8年 1月 28日

※学会誌等名 A型事業継続研究会・研究発表会

掲載日 月 日

発表テーマ A型事業所の存続と現状について—1年間の足跡—

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている☒

※先進的事業者名 アクトビリーサイクリング株式会社

実施日/参加者数 3月17日 1人

※他の事業所名

実施日/参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上
参加している。☒

※商談会等名 おとなりマルシェ

主催者名 熊本市障がい福祉課

日時 7月19日

内容 障がいのある方と直接ふれあい、障害者施設で作
られた商品を手に取っていただく商品販売会

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している

☒

⑤当該人事評価制度を周知している

☒

人事評価制度の制定日 4年 2月 1日

人事評価制度の対象職員数 名

うち昇給・昇格を行った者 名

当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している

☐

⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」

を受講している

☐

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に
福祉サービス第三者評価を受けている☐

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント
規格等の認証等を受けている☐

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ
経営改善計画書へ提出した。☐

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。